



渋谷区立鉢山中学校 学校だより

挑戦(Challenge) 創造(Create) 対話(Communicate)

校長 小幡 政明

そで 袖ひちて むすびし水の・こほれるを

はる た きょう 春立つけふの 風やとくらむ

きのつらゆき
紀貫之

古今和歌集に載っている和歌です。「夏、袖をぬらしてすくった水が、冬の間は凍っていたのを、立春の今日の風が溶かしていることだろう。」という内容です。2月4日は立春でした。暦の上では春となりましたが、急な寒さを迎え、東京でも6センチの積雪となりました。まだまだ、寒い日が続きそうです。防寒対策をしっかりとこの寒さを乗り切りましょう。

IGNORANCE=FEAR (無知は恐怖)

SILENCE=DAETH (沈黙は死)

1月に「キース・ヘリング展 アートをストリートに」(森アーツセンターギャラリー)に行ってきました。

キース・ヘリングは、アメリカの現代画家です。「アートはみんなのために」という信念のもと、1980年代にニューヨークの地下鉄構内で黒い模造紙にチョークで書いた作品を皮切りに、ストリートで作品を発表して有名になりました。



このように明るい色彩のポップな作風で、現在もTシャツのデザインなどにも使われているので見たことのある人もいるかもしれません。

楽しい作品が多かったのですが、次の作品が、一番印象に残りました。



エイズ支援活動のポスターです。キース・ヘリングは、社会に潜む暴力や不平等、エイズに対する偏見と支援不足に対して、アートの力で最後まで戦いました。

このポスターの上部には、**IGNORANCE=FEAR (無知は恐怖)**と書かれています。人間は知らないことは、怖いと感じます。怖いものは見ないようにします。そしてそのことが、偏見を生み、差別につながっていきます。

下部には、**SILENCE=DAETH (沈黙は死)**と書かれています。暴力や差別を見て黙っていることは、誰かの死につながるという意味でしょうか。あるいは、見て見ぬふりをして黙っている人の心、良心の死につながるという意味かもしれません。

いずれも非常に強い言葉で、強烈なメッセージとなっています。31歳の若さでエイズによる複合症でこの世を去ったキース・ヘリングには、まさに実感となった言葉かもしれません。

皆さんは、今、様々なこと学んでいます。学校での学習もそうですし、学校生活や家庭生活の中での様々な体験からもたくさんのことを学んでいます。ぜひ、できるだけ広い視野で、できるだけ多くのことを学んでください。そのことが皆さんを「無知の恐怖」から解放し、皆さんの心を偏見のない平等で豊かなものにしていきます。

1月のchallenge

書初め会

12日(金)

1年生から3年生まで、2時間ずつ体育館で書き初め会を開催しました。講師として公益財団法人日本習字の教授である元木里奈先生と鈴木幸代先生にご指導いただきました。

はじめに先生から書き初めの書き方を教えていただき、その後は各自で楷書体と行書体の課題に取り組みました。どの生徒も2時間の間にみるみる上達し、素晴らしい作品を仕上げることができました。



2年生校外学習(都内めぐり)

19日(金)

2年生の校外学習は、都内巡りです。渋谷駅から出発し、公共交通機関を使って自分たちの決めた見学場所を巡り、渋谷駅に戻ってきます。それまでの間は、すべて自分たちの班だけでの行動です。班の仲間だけが頼りです。多少のアクシデントはありましたが、各班とも臨機応変に対応し、予定時間内に戻ってくることができました。計画通りに行動することや班の団結など多くのことを学びました。来年度の修学旅行での班行動の良い予行演習となりました。



セーフティ教室

27日(土)

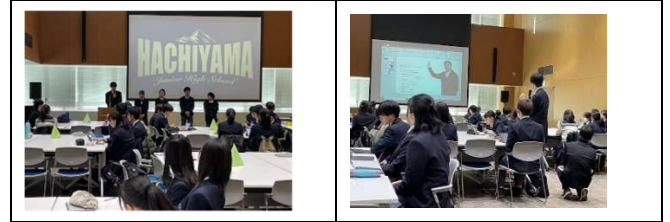
本年度2回目のセーフティ教室を開催しました。テーマは、「SNSの犯罪事例から学ぶ」です。東京法務少年支援センターの志賀 賢一さんに来ていただいてご講演いただきました。近年の少年犯罪の事例には、SNSトラブルがかかわっていることが多くなっています。SNSトラブルに巻き込まれないよう繰り返し学んでいくことが大切です



生徒会交流会

27日(土)

渋谷区立中学校8校の生徒会役員が渋谷区役所に集まり、交流会を行いました。第1部では、各校の取組紹介。第2部では、他校の生徒同士のグループを作り、「学校のきまり」について討議しました。活発な討議となり、自分たちの「学校のきまり」について見直すきっかけとなりました。



1月のcreate

さみどり祭(展示部門)

27日(土)にさみどり祭の展示部門を開催しました。生徒たちの1年間の学習の成果を展示しました。豊かな個性、高い芸術性、社会性の高いレポートなどなかなかの力作ぞろいです。

当日は、たくさんの保護者の皆様に参観していただきました。ありがとうございました。



1組展示

家庭科作品



技術作品

美術作品



社会(新聞教育)

SDGs探究レポート